

恵那市教育委員会における教科書採択に係る議事録

日時：令和6年7月24日（水）

場所：恵那市役所西庁舎4階会議室

出席委員	教 育 長	岡 田 庄 二
	教育長職務代理者	後 藤 伸 子
	委 員	樋 田 千 史
	委 員	西 尾 修 欣
欠席委員	委 員	村 松 訓 子

教育委員会事務局職員等

副教育長	工 藤 博 也
事務局長	鈴 村 幸 宣
事務局次長兼学校教育課長	丸 山 頼 彦
教育総務課長	額 額 千 尋
教育総務課総務係担当係長	志 津 博 光

教育長 中学校用教科用図書の採択について、令和7年度使用中学校用教科用図書東濃採択地区基準を着眼点にして、全ての発行者について調査・研究を行った。その中の上位2・3者を比較して東濃採択地区協議会として審査された。これから協議会で話題となった主な内容に絞って説明する。

<国語>

事務局 「書くこと」領域では、様々な言語活動が設定され、指導事項が網羅されている。特に推敲を扱った教材が全学年に設定され、重点的に学習できるようになっている。また、恵那市を含め東濃地区は若い先生が多いので「学びへの扉」という内容があることで、生徒と教師が見通しをもって学習が進めやすいという意見が出た。

教育長 上位の発行者になると、ほとんど差がないものが多い。東濃地区の教員及び生徒の実態、特に若い教員が多いという実態を踏まえ、ベテランでなくて若い教師も教えやすい教科書という観点が色濃く出ている。

事務局 書写についてはコンテンツの筆使いの動画が、どの教科書にも掲載されているが、採択された教科書は真上からと斜めからの2つのアングルを組み合わせた映像を見ることができ、それから、左利きの生徒用の「道具の置き方」や「運筆」が分かる動画が収録されていて、誰もが大切にされているという意見が出た。

委 員 道具の使い方を、これだけ細かく見せてくれれば、それは素晴らしい。ただし、生徒が忙しくならぬように、使い方が大事になる。

<社会>

事務局 地理について。一番右下のところに「確認しよう」というところがある。その下にも「説明しよう」という位置付けがあり、教科書の資料や地図帳で確認するように働きかけやすい。「技能を磨く」という、地図帳活用コーナーを通じて、地理の技能の習得や学びの深まりができるという工夫がされている。デジタルコンテンツについては、ワークシートや活用の資料のアニメーションや重要語句の解説があつて、ICTを活用した自主学習にも活用できる工夫がされている。QRコードからワークシートや図解アニメーションが出てくる。

- 事務局 併せて地図について。QRコードの左側に「歴」と書いてある。これは歴史マークと言って地図上に31か所ある。公民マークは「公」と書いてあり、15か所示されている。それから、歴史に関する鳥瞰図になっており、江戸時代の地名が書かれている。二次元コードには、可視化されて分かりやすいジオグラフのコンテンツなどがあって充実している。
- 委員 デジタルの地図は、日常生活ではとても重宝に使っている。この紙の地図というのも、使い勝手がいい。使い心地もいい。その両方を併用するのがいい。
- 委員 地理の教科書は本当に写真が多い。リアルな写真が多い。世界の国々がカラーで見えるということは本当に良いと思う。大変きれい。
- 事務局 歴史について。学習過程が具体的に示されたタイムトラベルという内容があったり、アクティブ歴史ALという内容が設けられたりして、視覚的に分かりやすく、生徒が様々な視点や立場から学びを広げたり深めたりできるよう工夫がされている。「世界とのつながりを考えよう」というコーナーがあり、様々なイラストや地図の使用でイメージをもちやすいことに加えて、興味・関心を引く工夫がされている。
- 事務局 併せて公民について。「みんなでチャレンジ」という内容があり、探求的に課題追求ができることに加えて、個別最適な学びと協働的な学びの充実が図られるよう工夫されている。また、QRの動画資料とか思考ツールのデジタルコンテンツが115整備されており、生徒がICTを活用した学習活動の充実には十分配慮されている。
- 委員 アクティブALというのが帝国書院にはある。歴史も地図のほうにも。公民を見てもやっぱりアクティブALというのがあって、全て同じ教科書の方がいいのかなと素朴に思うが、それよりも優れているところがあったのか。
- 事務局 コーナーの構成は同じでも、内容を比べた時に東濃の生徒に授業で考えさせたい課題や投げかけが多いので、ずらしてでもこちらにしたいという意見が出ていた。
- <数学>
- 事務局 2年生の証明の進め方で比較すると、等しい辺や角度に着目する根拠となる事柄を明示した上で証明のパターンを示すという段階的な道筋が示されている。この段階が数学が苦手な生徒に対して有効だと考えられる。二次元コードが3年生では648あって、動画解説や練習問題のヒントを読み取ることができる。単元のまとめでは、類題が出題され、ICTを活用した個に応じた学習が進められるように工夫がされている。
- 教育長 中学校で差がつきやすい教科なので、苦手な生徒にとっても丁寧な教科書という点が強く意識された気がする。
- 委員 図解が数多くある。イラスト数が多い。
- <理科>
- 事務局 個に応じた学習指導について「自分の考えをまとめよう」というのがあり、キーワードを使って個の主体的な学びにつながるように視点が示されている。「学びを生かして考えよう」では、深める問いがあって学びを広げる工夫が大変よく図られている。漢字にルビがあることは同じだが、色彩やデザインがユニバーサルデザインで、どのような生徒にも分かりやすいように配慮されている。
- 委員 カラーのページを見ていると、白黒のページは見劣りする。
- 事務局 色があると、配慮の必要な生徒には情報が入り過ぎてしまうことがあり、落ち着いた配色に配慮したのがユニバーサルデザインである。
- <音楽>
- 事務局 音楽についてです。「学びのコンパス」というページがあり、主体的な学びを促すワーク

シートが工夫しており、対話的な学びを促した後に、実際の表現の工夫について明らかにできるようになっている。1つのコーナーで主体的・対話的で深い学びを行う配慮が大変よくされているという評価。「音楽の約束」というページがあるが、これが教材曲と紐づけられ大変よく配慮されている。

事務局 器楽についてです。郷土の祭りや伝統芸能で具体的な使用場面を取り上げ、その下の写真を見ると、生徒が身近で興味深く学べるように工夫されている。それから、世界文化遺産に登録されている岐阜県の古川祭の起し太鼓が取り上げられていて、ふるさと岐阜のよさに触れることができる。

教育長 和楽器は恵那市内は箏を共有して使用している。

事務局 東濃は箏を扱っている市が多いということで、琴の扱いに着目して比べられた。

<美術>

事務局 焼き物についての扱いを比べると、地域を代表する織部をはじめ、美濃焼の美しい作品が掲載されている。QRコードから作品の説明や基本となる3つの成形方法など、詳しく扱われている。特に、作家の制作動画があり、伝統文化に触れて、憧れを持って制作することができるように配慮されている。また全体的に生徒作品が多く扱われている。

委員 生徒の作品が載っているということか。

委員 歴史的な名画の鑑賞というものも入っている。

委員 「鑑賞を楽しむ」というページがあるので、その中でこのQRコードで見られる。

委員 有名な画家の絵というのは、雑学ではないけれども、知っておきたい。

委員 恵那は浮世絵のある美術館のお膝元である。

<保健体育>

事務局 「生活習慣の予防」という同じページがあるが、「活用する」というところに具体的な事例から他者への助言を考える活動があり、一番下に「広げる」というのがあり、自己の日常生活を見直して、よりよい解決に向けて思考・判断する学習が身につくように工夫されている。巻末にはスキルブックがあり、18ページにわたって実習の資料がついている。日常生活ですぐ活用できるように工夫されている。

委員 これ1冊で3年間分か。

事務局 そうである。この1冊を3年間使用する。

<技術・家庭科>

事務局 2章では「問題の発見と課題の設定」で始まり、次に「解決策」となって、最後に「問題解決の評価、改善・修正」という流れで構成されている。家庭や社会の関連とか最適解など、技術の見方・考え方を働かせた課題解決ができるように学習の流れが工夫されている。これからの技術で何を教えるのかということが明確になっている。

委員 CADという言葉が入っている。時代の変化を感じる。

委員 昔は作れば良いという感じだったが、そうではなくなってきたということか。

事務局 家庭科では「ゆでる・いためる」の調理を学習をした小学校から、「蒸す」調理を学習する中学校への発展性が見られる。また、ビタミンCの残存率に関わるグラフを示して系統的な学習と関連させた学習となる工夫が図られている。実習例が11例あって様々な場面で使用することができる。

委員 今の家庭科というのは、ものすごく学習範囲が広い。生活全般。

教育長 特徴的なのは、消費生活。金融関係などは、高校もそうですが、きちっと学ぶことになっ

ている。特に成人年齢が18歳に下がったことも影響している。

委員長 SDGsから始まって、家の設計から、生活の仕方から、もの凄く幅が広い。

委員長 この教科書はすごい。これはページ数が多く勉強できる。自分も欲しいぐらいの出来栄え。

委員長 このコンテンツに作り方も出てくる。

<英語>

事務局 終末の言語活動が明確なことで、教諭の経験年数にかかわらず、指導と評価がしやすくなるよう配慮されている。デジタルコンテンツが豊富であり、単語を隠して学習できるマスク機能や日本語訳を確認できる機能を活用して効果的な家庭学習ができるようになっていいる。デジタルコンテンツではネイティブな外国人を登用しているところも分かりやすいという意見があった。

事務局 デジタルコンテンツについては時間をかけてじっくり見ると良さが分かる。

<道徳>

事務局 「考えよう」という中心発問、一番下のコラムのところに「ぐっと深める」という深めの発問、最後に「見つめよう」という道徳的価値の内面的自覚を図る発問という流れで、自我関与を促すことに加えて、道徳的価値を深く理解できるように工夫されている。また、教材名の下に位置づけている二次元コードの活用によって、映像や他教科のリンクのコンテンツがあって、個々の学習を広げる工夫が図られている。

委員長 中学校でも道徳では教師が範読すると思うが、資料によっては長文のものもあり、読んで1時間終わってしまうことは心配ないか。

教育長 範読ではなくデジタルコンテンツを利用する人も増えてきた。

委員長 資料の中身については比較していないのか。

事務局 資料については遜色がなく、どちらも優れていた。読むことばかりに偏るような教科書は選ばれていない。

委員長 デジタルコンテンツで家庭学習と言うが、持って帰らないことが多い。活用できたらすごくいいと思うが、なかなか活用し切れていない。

委員長 全体的にルビが結構振られている。

委員長 いろんな生徒に配慮されていると思う。

教育長 それでは、採決に移る。恵那市の採択については、議第28号の採決である。令和7年度中学校において使う教科書は、東濃採択地区協議会において採択された教科書案に賛成ということでよろしいか。

委員長 (全員) 異議なし

教育長 小学校につきましては、法令に基づき、昨年度採択したものを基本的には4年ごとの採択替えということで、来年度の使用教科書は現行使用の教科書と同一のものとなっている。